

環境配慮
(グリーン)
改修工事

1アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項
1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。
2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。
3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標仕」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

2アスベスト含有分析
調査

分析によるアスベスト含有建材の調査
・ 行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示
分析対象
※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）
調査方法・分析方法
※ JIS A 1481 規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。
分析結果については、監督員に提出すること。

3アスベスト粉じん
濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定
・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）
測定箇所 ※ 図示

適 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考
レベル1	レベル2	レベル3					
○	○	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点 ・ 各3点	
○	○	・	測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・	測定 3		処理作業室内	各2点	
○	・	・	測定 4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
○	・	・	測定 5		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認
○	○	・	測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
○	○	・	測定 7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
○	○	・	測定 8		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・	測定 9	処理作業後 (シート撤去後 1週間以降)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
・	・	・	測定 10		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ノズル内径の直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さとの径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）
ア 測定結果
イ 測定時間
ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ マウンティング方法
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4アスベスト含有吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹き付け材の除去
・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。
[9.1.3]
除去物及び汚染物質等
処理方法
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
・セメント固化
処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

5アスベスト含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去
・ 行う
作業上の隔離
・ 行う
・ 行わない
処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

6アスベスト含有成形板類の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の除去
・ 行う
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

2 非石綿部での切断による除去
・ 行う
処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて
		※ 図示 ・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

(1) 設計図書による調査
① 施工年による調査
② 使用建築材料による調査

可能性あり・不明

(2) 現場目視による調査
目視調査（建材の確認）

可能性あり・不明

分析を実施しない場合

分析を実施する場合

(3) 分析調査による判定
JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など

石綿含有0.1%を超えていると判断

石綿含有0.1%以下と判断

石綿含有とみなす

石綿使用あり・届出要件確認・届出

石綿使用なし

可能性なし

可能性なし

【小鹿野中学校第二体育館】 2024.12

備 考

課長副課長主幹主査担当

〔株〕新日本設計

一級建築士事務所登録（8）第18661号
一級建築士登録第171953号松崎峰夫
埼玉県鶴ヶ島市御折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）

所長

設計本部長

設計担当

設計年度

工事名称
小鹿野小中学校体育館空調設備工事

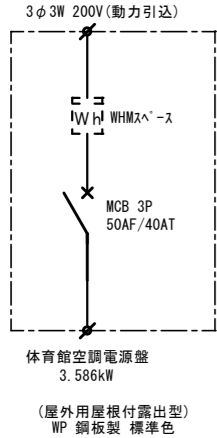
図面番号
電気設備工事特記仕様書（2）

縮尺

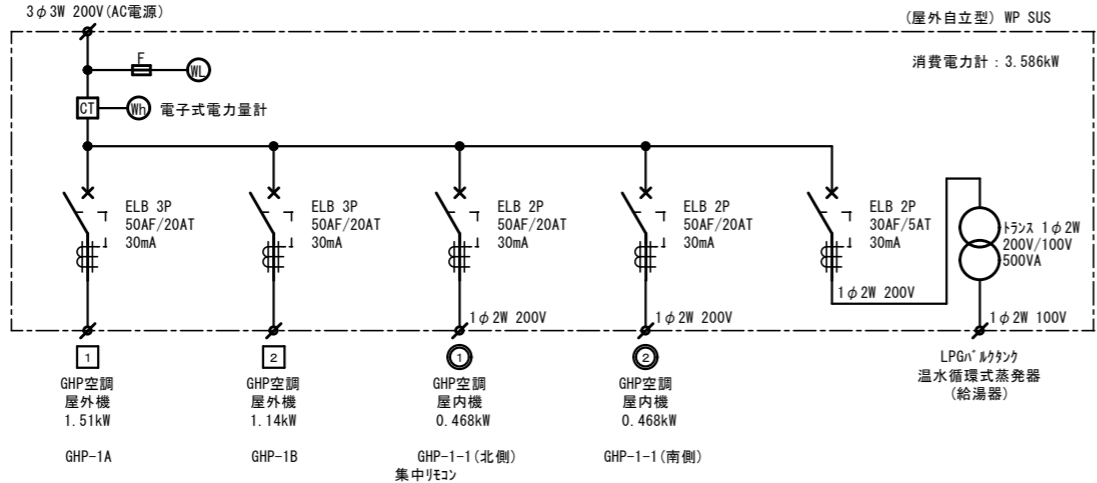
S=1/NS(A1)
S=1/NS(A3)

E-02

新設 引込開閉器盤



新設 体育館空調電源盤



体育館空調電源盤負荷テーブルリスト

回路番号	負荷名称	負荷記号	消費電力 (kW)	ケーブル	配管	
					屋外・屋内	接続
1	GHP空調 屋外機	GHP-1A	1.51	EM-CE3.5"-3C, ED2"	FEP30 (GL-600)	— F2WP-24
2	GHP空調 屋外機	GHP-1B	1.14	EM-CE3.5"-3C, ED2"	FEP30 (GL-600)	— F2WP-24
①	GHP空調 屋内機 (北側)	GHP-1-1	0.468	EM-CE3.5"-3C	FEP30 (GL-600)	カハ'-内 F2WP-24
②	GHP空調 屋内機 (南側)	GHP-1-1	0.468	EM-CE3.5"-3C	FEP30 (GL-600)	カハ'-内 F2WP-24

注 記

- 特記無き全ては新設とする。(図示無き全ては既設のままとする)
- 厚銅電線管は露出配管とし溶融垂鉛リフト仕上げとする。
- 型钢振れ止め支持は溶融垂鉛リフト仕上げとする。
- 地中埋設部分には埋設標識シート(3.5倍長)を敷設とする。
- 新規電力引込供給方法については電力会社に確認すること。
- 新規電力引込工事負担金は別途とし、監督員と協議すること。
- 特記無き場合は下記とする。
 - EM-CE3.5"-3C (冷媒管カハ'-内)
 - 332 プレキャストSS形防水 (SUS) 300×300×200 (ET付)
- 体育館空調電源盤分岐回路番号 空調屋外機GHP-1A (3φ3W200V)
- 体育館空調電源盤分岐回路番号 空調屋外機GHP-1B (3φ3W200V)
- 体育館空調電源盤分岐回路番号 空調屋内機GHP-1-1 (1φ2W200V)
- 体育館空調電源盤分岐回路番号 空調屋内機GHP-1-1 (1φ2W200V)
- 空調室内機の電源線は冷媒管カハ'-内 (天井内以外) とする。
 - 屋外露出部分: カハ'-内鋼板リフト内
 - 屋内露出部分: 樹脂製冷媒ダクト内

